

対談企画第8回

すみきしゃ 角記者が行く！！



令和6年11月15日

ケアヴィラ宝塚広報委員会では、働いているスタッフと広報委員会のメンバーが対談し、仕事に対する思いや心構え、またプライベートなどの素顔に迫る対談企画を行なっています。今回は第8回として、9月より新しく事務長として着任しました山中 毅（やまなか たけし）事務長にお話をうかがいました。ぜひ、ご一読下さい！

これまでの経歴について

角記者（以下、角）：角記者が行く対談企画、もう8回目になります。この9月に新しく事務長として着任されました、山中事務長にお越しいただきました。僕の入社以降4人目の事務長ですが、一番背の高い事務長ですね。色々とお聞きしたいと思います。肩の凝らない程度にお付き合いよろしくお願いします。

山中事務長（以下、事務長）：よろしくお願いします。

角：まず、これまでの経歴を教えてくださいませんか？

事務長：私は、昭和57年の4月に宝塚市消防本部に消防士として採用されて、42年間消防本部に勤務しました。そのうち平成15年からの3年間と平成26年からの7年間、トータル10年間市役所に出向していましたので、消防には32年間勤務しました。平成26年4月に宝塚市危機管理監、令和3年4月に宝塚市消防長に任命され、令和6年3月に宝塚市消防本部を退職、4月に尚和会とご縁が繋がって、ケアヴィラ宝塚でお世話になっています。

前職で心に残ったエピソード

角：大変ハードなお仕事だったと思いますが、前職で心に残ったエピソードなどございますか？

事務長：感動するエピソードというのは正直思い当たらないですね。常に災害が多くて、僕が入職した昭和57年頃は水害が多く、そのあと山火事も多くありました。やはり一番大きな災害は平成7年の阪神・淡路大震災ですね。出勤したら市内中で多くの建物が倒壊していました。救助現場に行き、1人目は助けられた

山中 毅（やまなか たけし）
昭和38年生まれ
昭和57年 兵庫県立宝塚高等学校卒
昭和57年～宝塚市消防本部にて勤務
平成26年～宝塚市危機管理監、
令和3年～宝塚市消防長歴任
令和6年9月～ケアヴィラ宝塚事務長として着任



んですけど、行く現場行く現場で亡くなられていて、すごく壮絶な現場でした。そのあと、防災関係の仕事をするようになって、一家四人が生き埋めになった土砂災害や、仲間が池で殉職したりだとか、山火事で3日間長尾山が延焼したこと、JR福知山線脱線事故で宝塚市民に多くの犠牲者が出たことなど、色んな災害現場を経験してきましたので、辛い思い出は次々にでてきます。

角：色々とおつらい経験をしてこられたんですね。



Photo:

中央：ケアヴィラ宝塚庭園にて 右上：消防訓練にて消火栓の使い方を説明

大切にしている考え方や信条

角：仕事をするうえで大切にしている考え方や信条として、いることなどはございますか？

事務長：まず、仕事があったらすぐにそれを片付ける。消防は必ず一事案完結という形、火災であれば出動、消火、鎮火して引き上げる、何でも一時案で完結ですから、あとあとにものを残さない、まず目の前のことを片付けてから新しいことに着手するというのを心がけているつもりです。

角：ああ、いい事聞きました。僕なんかずっと後回しです。肝に銘じます！



喜びややりがいを感じる時

角：喜びややりがいを感じる時はどんな時ですか？

事務長：前職と同じような観点で見たら、身体や生活面で不便を感じて入所されている方々が、この施設でスタッフと関わりあい、笑顔を取り戻されているところを見ると、この仕事は共通するところがあるなと思います。消防でも現場で感謝される場面が多いんですが、こちらでもゲスト様が動けるようになった、リハビリしてよくなった、手を差し伸べてもらって自分の生活が上手くいっていると感じていただけたらそれはすごくやりがいにつながるなあと感じますね。僕は直接介護しているわけではないですが、一緒にいる職場の仲間が働きやすい環境をつくることによって、ゲスト様の住みやすい環境ができるということに繋がるのかなと思いつつ仕事をさせてもらっています。

角：僕もそうですね、ゲスト様の喜び、笑顔を見れるのが一番だなと感じながらお仕事させてもらってますね。何も考えずにおやじギャグ言ってるわけじゃあない！（笑）

休日の過ごし方や趣味について

※答えが知りたい方はぜひ山中事務長まで！

角：次はプライベートなことをお聞きします。休日の過ごし方や趣味について教えてもらえますか？
事務長：趣味といえるかわかりませんが、毎年3月に宝塚文化財団が行っている「宝塚学検定」にチャレンジしています。宝塚学博士を10回合格したので、今年の5月「宝塚学名誉教授」の称号をいただきました。宝塚幼稚園、宝塚小学校、宝塚中学校、宝塚高校を卒業し、宝塚消防でお世話になったので、宝塚のことが大好きです。宝塚市の歴史、文化、地理、食生物のことが勉強できる宝塚学の勉強と一緒にしませんか？例えば、日本で一番高い山をご存知でも、宝塚市で一番高い山を知っている方は少ないと思います。ご存知ですか？（※）
角：知らないですね〜。大阪で一番低い山（天保山）は知ってますけど（笑）
事務長：笑笑。宝塚市のトリビア的な知識を得ることもできるので面白いですよ。他には、蕎麦打ちや、歩くのが好きなので過去六甲山の縦走、低山山歩きとかも！復活させたいですね、映画鑑賞にカラオケも好きです。
角：多趣味ですね。僕も山登り好きでね、実は夢がありまして、60近いですが、富士山に登ってみたいです！
事務長：ああ、一緒です！！いつの日かね！そんなふうに趣味を通じて、心のリフレッシュをしています。

チャレンジしてみたいこと

角：これからチャレンジしてみたいことなどありますか？さきほど富士登山もお聞きしましたが。
事務長：チャレンジといふかね、42年間あんまり旅行に行っていなくて…。海外旅行も、平成元年に新婚旅行で中国に行ったきりです。当時はハワイとかが人気でしたけど、ハワイはいつでも行けると思って、変わったところに行こうと思って中国に行ったんです。そしたら、ちょうど、天安門事件の時に、散々な目にあったんですよ。罪滅ぼしで、落ち着いて時間ができたら、ハワイでも行きたいな〜って思ってます。あとは日本の名城100選、お城好きなので旅行できたらなあって夢は持ちながら、とりあえず今は頑張ってるって思ってます。
角：なるほど、お城がお好きならぜひとも熊本城は行ってみてください。
事務長：そうですね！行きたいなあ。
角：迫力がすごいですから！他にも近場だと、やっぱり姫路城はオススメです。
事務長：ああ、角さんとしゃべってたら行きたくなくなってきました（笑）

ケアヴィラ宝塚の魅力と今後の抱負

角：最後にケアヴィラ宝塚の魅力と、今後の抱負を教えてくださいませんか？
事務長：皆さん優しく、まだ右も左もわからない事務長が入っても優しくお付き合いして下さっているのは嬉しいなあと感じています。また、施設内で結構たくさん知り合いの方に会うのですが、ゲスト様、家族様や親戚の方などから、ケアヴィラ宝塚に入れてよかったという声がよく聞こえてきます。それはやはりスタッフの皆さんが、ゲスト様の喜ぶ顔を見るために一生懸命取り組んでいる姿勢が、こういう嬉しい声に繋がっているのだと感じます。僕は、こういう嬉しい声がいつも届いてくる施設になっていくために、職場の仲間が少しでも働きやすくなるよう、微力ながらコツコツと努めていきたいなと思っています。
角：同年代でもあり楽しくお話を聞かせていただきました。今後共よろしく願いいたします。ありがとうございました。（取材日：令和6年10月22日）



健康に楽しく過ごす秘訣

角：事務長は、体格もすごくよくて、色々お聞きすると、タフな精神力をお持ちの方だなあと思うのですが、健康に楽しく過ごす秘訣などありますか？
事務長：楽しく飲んで、カラオケ歌って、ストレス発散して、あとは…サウナですね！週1回か2週間に1回はサウナへ行きますね、身体から汗をださないとすっきりしませんね！
角：よう似てる（笑）僕もサウナ好きで、サウナハット買ったくらいですから（笑）夜勤明けの休みの日だったら4〜5時間くらい長居してます。
事務長：サウナいいですよ。この前、神戸サウナに行っても5時間くらいいました。あと、温泉、近くにある今田薬師温泉とか、三田寿の湯とかも行きます。
角：共通の趣味が多くて、嬉しいです。

Photo:左：宝塚名誉教授認定証、宝塚ハーフマラソン、六甲全山縦走ゴール地点
中央：ケアヴィラ宝塚庭園にて インタビュー後、すっかり打ち解けた様子のお二人
右：まちの保健室にて地域の皆様に向けて公開講座「AEDってなあに!？」



～対談を終えて～

3階ケアスタッフ 角 和正（すみ かずまさ）

第一印象は背が高く貫禄がありますが、いつの間にか豪快な笑い声に引き込まれ会話も弾み、凄く親しみが湧いてきました。また、前職の特殊性からか、言葉の端々に使命感と思いやりを感じました。頼もしい事務長についていきます！今度ぜひゲスト様の前でデュエットしましょう！